



MMFの見解 電磁過敏症

以前から、携帯電話や基地局から発生するような電磁界へのばく露によるものとされる、さまざまな健康上の問題を報告する人々がかなり存在しています。そうした人々はしばしば、電磁過敏症であると説明されています。

こうした人々がばく露されている電磁界レベルは、一般的に推奨されているばく露制限値よりも十分低く、WHOによれば、何らかの健康影響を生じることが知られているレベルよりも、明らかに遥かに低いものです。

報告されている過敏症反応には、皮膚病学的症状（刺すような、または焼けるような感覚）、神経衰弱症状、自律神経の症状（疲労感、集中力の減退、動悸、消化器障害）といった、広範な不特定の症状が含まれます¹。

WHOは2004年10月、プラハ（チェコ共和国）において、電磁過敏症に関するワークショップを開催しました。WHOはこのワークショップの後、以下のような結論を下しています¹。

- ・ 電磁過敏症²は人によって異なる様々な不特定の症状で特徴付けられる。
- ・ そうした症状は実際のものであるが、それと電磁界ばく露との因果関係についての科学的証拠はありません。
- ・ 電磁過敏症という用語を診断上の分類に用いることの根拠はありません。
- ・ 国際的に受け入れられている電磁界制限値を下げることにより、電磁過敏症と関連する症状の有病率が低下するという兆候はありません。

WHOワークショップの後、ユストゥス・リービヒ大学（ドイツ）の科学者らは、2000～2004年までに公表された、電磁過敏症と携帯電話からの電磁界に関する文献考察を発表しました。このうち、実験の品質について考察実施者の基準を満たしていた13編の研究では、ばく露と影響の証拠は見つかりませんでした³。考察の実施者は、以下のように結論づけました。

「全体として、二重盲検法実験において一般人よりも大幅に低い閾値の電磁界を知覚できる特定の小集団についての証拠はほとんどありませんでした。また、携帯電話放射へのばく露に起因する特定の症状の集団発生は見つかりませんでした。」

もう一つの最近の考察では、2004年1月以前に公表された、無線周波数（移動体通信システムに関連）及び超低周波の両方の電磁界についての31編の研究が対象とされました。このグループも、「電磁界に対する生物物理学的な過敏症の存在を支持する確たる証拠はない。」ことを見出しています⁴。

MMFは、「自身の症状を電磁過敏症に関連付けている患者の対処は、以下を講じることによって、その健康症状と臨床状況(clinical picture)に集中すべきだ。」というWHOの見解を支持します。

- ・ そうした症状の原因かもしれない、何らかの特定の条件を同定し、対処するための医学的評価

- ・ そうした症状の原因かもしれない、精神医学的または生理学的条件を同定するための心理学的評価
- ・ そうした症状に寄与するかもしれない、職場及び家庭における要因に対する評価

2005年9月

¹ このワークショップの概要は、WHOの下記ウェブサイト参照をご覧ください。

http://www.who.int/pehemf/meetings/hypersens_summary_oct04.pdf

² WHOは、報告されている症状と電磁界との間の因果関係を暗示する「電磁過敏症」の代わりに、「本能性環境非寛容症(Idiopathic Environmental Intolerance)」という表現を選んでいます。

http://www.who.int/peh-emf/meetings/hypersens_summary_oct04.pdf ご覧ください。

³ Seitz, H, Stinner, D, Eikmann, Th, Herr, C, Roosli, M. Electromagnetic hypersensitivity (EHS) and subjective health complaints associated with electromagnetic fields of mobile phone communication---a literature review published between 2000 and 2004. (電磁気過敏症と移動体通信の電磁界に関連する自覚的な病訴－2000～2004年に公表された文献のレビュー) Science of the Total Environment, June 20 [e-publication ahead of print], 2005. <http://www.sciencedirect.com> より入手可能です。

⁴ Rubin, GJ, Das Munchi, J, Wessely, S. Electromagnetic hypersensitivity: a systematic review of provocation studies. (電磁気過敏症:誘発研究の系統的レビュー) Psychosom Med. Mar-Apr; 67(2): 224-32. 2005. <http://www.psychosomaticmedicine.org> より入手可能です。